

JIS

冷凍用圧力容器の構造

JIS B 8240 : 2015

(JSRAE/JSA)

平成 27 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 田 祥 三	早稲田大学
(委員)	綾 部 統 夫	一般社団法人日本機械工業連合会
	岩 見 吉 輝	国土交通省総合政策局
	梅 崎 重 夫	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	小 菅 文 雄	一般社団法人日本産業機械工業会
	齋 藤 明 徳	日本大学
	酒 井 健 二	東洋エンジニアリング株式会社
	眞 田 一 志	横浜国立大学
	高 辻 成 次	一般社団法人日本航空宇宙工業会
	田 中 文 基	北海道大学
	平 岡 弘 之	中央大学
	藤 田 俊 弘	IDEC 株式会社
	増 田 良 介	東海大学
	松 尾 垂紀子	慶應義塾大学
	松 田 三知子	神奈川工科大学
	山 田 知 夫	日本内燃機関連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.3.1 改正：平成 27.3.20

官 報 公 示：平成 27.3.20

原 案 作 成 者：公益社団法人日本冷凍空調学会

(〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル TEL 03-5623-3223)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会 (委員長 高田 祥三)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
1.1 適用する圧力容器	1
1.2 適用除外	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	4
4 冷媒に関する基本的要件	8
4.1 冷媒の加害性による区分	8
4.2 設計圧力	8
4.3 設計温度	10
4.4 冷凍能力	11
5 材料	13
5.1 材料一般	13
5.2 圧力容器に用いる材料	14
5.3 材料の使用制限	14
5.4 許容引張応力	34
5.5 許容曲げ応力	38
5.6 許容せん断応力	38
5.7 許容圧縮応力	38
5.8 許容支圧応力	38
6 圧力容器の構造	38
6.1 一般	38
6.2 腐れ代	39
6.3 板の計算厚さの制限	39
6.4 胴	40
6.5 鏡板、管板及び蓋板	43
6.6 管板及びステーによって支えられる板（箇条 7 に規定する発生器を除く。）	51
6.7 熱交換器の胴に設ける伸縮継手	58
6.8 穴	58
6.9 ボルト締めフランジ	65
6.10 のぞき窓用ガラスの厚さ	67
7 発生器などの構造	67
7.1 一般	67
7.2 腐れ代	67
7.3 胴	67
7.4 鏡板	68